

平成28年 3月22日

eduroam JP 参加機関 各位

国立情報学研究所
学術情報ネットワーク運営・連携本部
認証作業部会主査 岡部 寿男

eduroam JP の正式サービスへの移行（運用体制の変更）について

日頃より国立情報学研究所の活動にご協力くださり、ありがとうございます。

日本における eduroam は、平成 18 年度からの文部科学省特別教育研究経費事業「大学間連携のための全国共同電子認証基盤構築事業」における実証実験プロジェクトとして、eduroam JP という名称で平成 18 年 9 月から運用を開始し、その後、その利便性や互恵の精神へのご理解を得て、現在では 130 を超える機関にご参加頂けるところまで発展してきました。これまでの活動を通じて、eduroam は、認証連携に関する他の活動である学認や電子証明書と同様に、今後とも継続すべき重要なサービスであることが実証されました。

このような状況を踏まえ、このたび、eduroam JP の活動は、平成 28 年 4 月より国立情報学研究所の正式なサービスとして引き継がれることとなりました。また、これをもって認証作業部会がこれまで継続的に実施してきた実証実験プロジェクトが全て正式サービスとして国立情報学研究所に引き継がれることとなるため、認証作業部会は平成 28 年 3 月末をもって終了する予定であることも申し添えます。これまでご協力頂いた機関の方々に深謝するとともに、今後とも引き続きご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

平成28年 3月22日

eduroam JP 参加機関 各位

国立情報学研究所
学術基盤推進部長 漆谷 重雄

eduroam JP の正式サービスへの移行について

日頃より国立情報学研究所の活動にご協力くださり、ありがとうございます。

かねてより、日本における eduroam サービスである eduroam JP は、国立情報学研究所 学術情報ネットワーク運営・連携本部 認証作業部会が主体となり、東北大学サイバーサイエンスセンターおよび京都大学学術情報メディアセンターの協力の下で実証実験プロジェクトとして運用されてきましたが、平成28年4月より国立情報学研究所が正式なサービスとして eduroam JP の活動を引き継ぐこととなりました。

当面は、引き続き、東北大学および京都大学にご支援いただきながら運用を継続し、8月頃を目処に新体制に移行すべく準備を進めていく予定です。新体制への移行につきましては、準備が整い次第、改めて皆様に詳細についてご案内させていただきます。

なお、原則として現行システムをそのまま引き継いで運用する予定ですので、4月の時点で eduroam JP 参加機関の皆様には設定変更等ご対応頂くことはございませんが、老朽化しているシステムの更新を順次行うことを計画しておりますので、その際にはサーバの切り替えに伴う設定変更（IP アドレス等）にご協力頂きますようお願い致します（eduroam 接続のための参加機関側のシステムは継続してそのままご利用頂けます）。

eduroam JP 参加機関の皆様には、改めて継続参加の意向確認と設定変更等のお願いをさせて頂くことになるかと存じますが、参加費不要のままとしつつ、これまでと同等以上のサービスを提供すべく準備を進めたいと思いますので、今後とも引き続きご理解、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

本件にかかる問い合わせ先
国立情報学研究所 学術基盤推進部
学術基盤課 総括・連携基盤チーム（野田）
Tel 03-4212-2218 Fax: 03-4212-2230
e-mail: tech@eduroam.jp